

# KANOYA

KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

旬な"かのや"の情報をまとめてクローズアップ  
広報かのや

2022  
September



あ  
り  
が  
と  
う

# 大姶良中学校 ジャズバンド部



私たち大姶良中学校ジャズバンド部は現在14人の部員で活動を行っています。当校には吹奏楽部がなく、代わりに県内でも唯一のジャズバンド部として、通常よく演奏される吹奏楽の曲に加えて「On the Sunny Side of the Street」や「Sing Sing Sing」などのジャズの名曲のほか、「学園天国」などポップスをジャズアレンジした曲にチャレンジしています。これまで、年に2回ある「かのやはら祭り」や定期演奏会など、年間5~6回のステージに出演してきました。音楽の良いところはみんなを元気にする前向きなパワーがあること。今後は演奏する側だけでなく聴く側も楽しめるような演奏を心掛けて、1人でも多くの人の心が動く演奏ができるように毎日の練習を頑張ります。

大姶良中学校ジャズバンド部  
久保田 彩愛 部長

内気でシャイな性格だけど、冷静で何事も人一倍頑張ることができる努力家。この8月から新部長として部員を引っ張る。好きな曲は「グレイテストショーマンメドレー」。休みの日は絵を描くことや読書をするなど静かに過ごすことが好き。



県内唯一のジャズバンド部  
地域に愛されるバンドを目指す

旧高須中学校をルーツにもつ大姶良中学校ジャズバンド部は、平成27年の旧高須中の閉校に伴って楽器も想いも受け継がれて誕生しました。今年で7年目を迎える同部では初心者からスタートする生徒がほとんどですが、音楽への情熱は人一倍。この大隅の地から届け!! 大姶良のスイングの風!!



7月8日にユクサおおすみ海の学校で行われたジャズライブでは、プロミュージシャンからの直接指導の後、共にステージに立つ経験ができて忘れられない1日となりました。



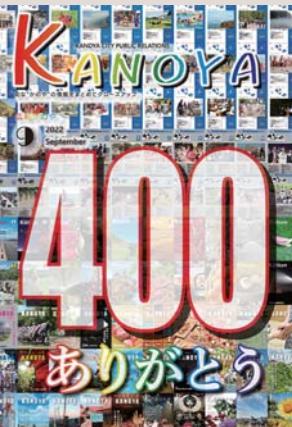
## Contents 目次

- 4 特集 Special Feature  
**セカンド・ライフ**  
「生きがい」のある毎日へ
- 10 Hot News  
**まちのおしごと**「株」ミズホ商会
- 12 私たちにもできるカーボンニュートラル
- 14 地域防災リーダーとして活動してみませんか
- 16 サンシャイン池崎氏  
鹿屋市クリエイエエエイ!ティプディレクター就任
- 17 目指せ全共!! 行こうよ全共へ 鹿児島全共
- 18 インフォメーション  
Information
- 22 放課後は 別 の顔 / タイム トラベル
- 23 のかけ橋 「安田 雄大さん」
- 24 読者のひろば
- 25 カノヤノトノセツ
- 26 健康らいふ
- 27 広告のひろば
- 28 プレゼント/MOVIEでかのや/映画情報

### 今月の表紙

#### 広報誌400号発行記念

平成18年の1市3町の合併から始まった「広報かのや」は、市民の皆さんに支えられ、おかげさまで発行400号を迎えることができました。今年4月から4回目のリニューアルで生まれ変わった「広報かのや」。これからも、「かのやのまち」の旬で役立つ情報を届けるよう頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。

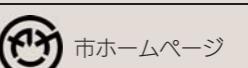


#### 統計情報 令和4年7月1日現在(前月比)

- 人口 / 99,826人 (+ 38) ・世帯 / 46,351世帯 (+ 49)
- 男性 / 47,883人 (- 15) ・面積 / 448.15km<sup>2</sup>
- 女性 / 51,943人 (+ 53)



#### 鹿屋市広報



市ホームページ



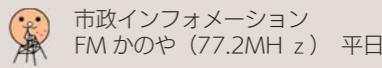
市公式フェイスブック



市公式 LINE



市総合アプリ  
「かのやライフ」



マチiro  
(広報誌閲覧アプリ)



近年、高齢者独居世帯と、高齢者夫婦のみ世帯の割合が増加してきており、身近に頼る人がいない高齢者の孤立や閉じこもりが進んでいます。令和2年1月に実施された市の高齢者を対象としたアンケート調査の結果と、令和元年の県の調査結果を比較すると、地域とのつながりを「とても感じる」「少し感じる」人の割合※<sup>1</sup>は県全体で68・4%であるのに対し、市では60・6%であり、県よりも低い水準となっています。また「この1か月、気分が沈んだり憂鬱な気持ちになつたりすることがある」人の割合※<sup>2</sup>も県全体で45・7%であるのに対し、市では53・0%と、県よりも高い割合となっています。一般高齢者、在宅要介護者の地域とのつながり、活力ある暮らしが課題となっています。

多くの人が住み慣れた地域での安心で自立した生活を望んでいる中で、高齢者が自分らしい毎日を送るために、早期から高齢者を支えるための地域医療や介護の連携はもちろん、就労や趣味などの地域づくりと生きがいの場が必要です。

そこで、今回は地域の中でいきいきと自分らしく生きる人たちと、それを支える場所について紹介します。

※1 一般高齢者が対象  
※2 在宅要介護者が対象



まつもと  
松元 武子  
さん  
(73歳)



いわきり  
岩切 幸二  
さん  
(73歳)



はまもと  
濱元 トシ子  
さん  
(82歳)



まつもと  
松元 広徳  
さん  
(66歳)

## 寺子屋を通して地域貢献

昔から子ども達に関わることが大好きで、鹿屋寺子屋事業を通して子ども達から元気をもらっています。勉強だけではなく、異なる年齢の人たちの中での人との関わり方も大事に育てていきたいです。これまでの経験を生かして地域に貢献したいと思います。

## 地域の輪を広げる活動を

川西町内会長として、防犯パトロールや小学生の田植え体験、4月からオープンした子ども食堂など、町内会活動を積極的に行ってています。子どもたちとの交流はもちろん、独居のシニアの人を対象とした交流の場をつくることで、地域の輪をさらに広げることが今後の目標です。

## 好きなことを続ける楽しみ

50歳頃に「何か趣味を持ちたい」と思い、油絵を始めて以降、約30年間に渡り続けています。継続しながら目標を持って取り組むことで、いきいきと毎日を過ごしています。今は、ひ孫たちの絵をたくさん描くためにも長生きしなければと思います。

## 子ども達と練習する喜び

40歳から改めて本気で取り組み始めた陸上競技。現在は玩具店を経営しながら、小学生や中学生に陸上を教えています。とにかく子どもが大好きで、時には子ども達と一緒に練習する時間が何よりも幸せです。

# セカンド・ライフ

## 「生きがい」のある毎日へ

令和4年7月時点で、市の人口に対して65歳以上の人の割合(高齢化率)は30.27%であり、超高齢社会に向けた変革期に立っています。未来に向けてはつらつとした毎日を過ごすための「生きがい」を一緒に考えてみませんか。

問市高齢福祉課 ☎ 0994-31-1116



## プラス思考 毎日1歩ずつ

ともだ 友田 イチ子 さん (83歳)

日本舞踊 三鐘流 師範  
着物着付師範  
串良町文化協会副会長



ここで、  
live here

踊りを教えて40年

幼い頃は両親が農業の合間に三昧線を弾いて、踊りを舞っていたのを見ていたことがあります。小学生の頃、中山の兵舎で婦人会の慰問について行つたことがあつて、そこで踊りを披露してたくさん的人に褒められたことをよく覚えています。本格的に日本舞踊を習い師範になつたのは40年前になります。

親しかつた叔母がとても活動的な人で、私が着付けの師範を取つて教え始めたのはその影響がありました。が、こちらも約40年前になります。

明日の目標を立てて、少しづつでもいいから行動することが元気の秘訣です。「野菜と花の様子を見る」とか「今日はここからここまで草を取ろう」とか小さなことでいいと思ひます。悪い方に考えてしまうと切りがないので、なるべく良い方に考えます。悪い方に考えてしまうと切りくできたじやない」と自分をほめることがあります。

思えば長く続けてきましたが、今でも週に1回、着付けと日本舞踊の教室を続けていて、串良町文化協会発表会でも毎年踊っています。着付けと日本舞踊で国際交流をしたこともあります。それでも、小学生のころから日本舞踊を教えていた高校生の弟子が「先生、踊ろう」と誘つてくれたこともあって、それが支えになりました。毎日のことでも、自分に喝を入れて行動することが大切です。毎朝のスクワット、片足上げ、足上げ、体操を日課にしていて、隙間の時間でなるべく体を動かしています。

**自らを奮い立たせて**



## まちに溶け込む 珈琲店を目指して

おやま かずのり 小山 一法 さん (67歳)

マドリッド カフェ Madrid Cafe オーナー  
浄土真宗本願寺派 僧侶



30年ほど東京で編集者生活を送った後、約14年前に帰郷しました。かつてコーヒー専門雑誌の仕事で、全国のコーヒー店を取材して回っていましたことや、高校時代からの友人が自家焙煎のコーヒー専門店を営んでいたことがきっかけで、9年前に寿7丁目でコーヒー専門店をオープンしました。ほぼ同じ時期に、寺の住職であった叔父の縁もあって、僧侶になるための儀式である得度をしてから、僧侶としての活動も行っています。

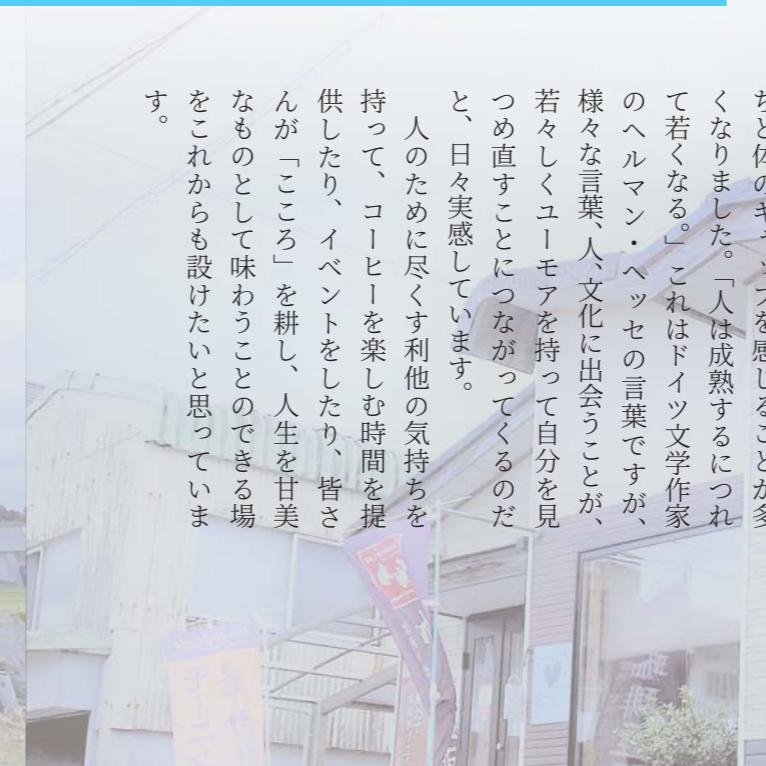
「生きがい」のヒントは、地域での居場所や役割、友人や仲間とのつながりの中にあるのかも知れません。地域とつながるお2人を紹介します。

# 生きる

## 「老い」を考える

私の最近の関心事は、やはり「老い」についてです。67歳になって、気持ちと体のギャップを感じることが多くなりました。「人は成熟するにつれて若くなる。」これはドイツ文学作家のヘルマン・ヘッセの言葉ですが、日々しくユーモアを持つ自分を見つめ直すことにつながつてくるのだと、日々実感しています。

人のために尽くす利他の気持ちを持つて、コーヒーを楽しむ時間を提供したり、イベントをしたり、皆さんが「こころ」を耕し、人生を甘美なものとして味わうことのできる場をこれからも設けたいと思っています。



## コーヒー店を もう一つの場に

店の空間を使って何かできないかと思つて始めた月1回の「ブディストサロン」という法話の会は、すでに60回以上開催しています。このほど

か、不定期開催ながら写経の時間を設けたり、音楽ライブや講演企画して催す「Madrid Café night」というイベントも行っています。

この秋からは、毎週日曜日の早朝、コーヒーを飲みながら軽におしゃべりできる時間を作りました。

軽におしゃべりできる時間を作りました。



1



2



3

## オレンジカフェでお話をしてみませんか？

オレンジカフェは、認知症の人やその家族、専門職、認知症に関心のある人が気軽に集える場所で、新川町公民館で定期的に開催しています。参加を希望する人は市地域包括支援センターまでご連絡ください。そのほか、各介護事業所で開設されるオレンジカフェについては、市高齢福祉課までご連絡ください。



日々の中でも、「これ以上悪くなったら」と不安になったり、ついカッとなってしまったりすることもあります。それでも周りの人と相談することで、明るくなるきっかけが生まれます。家族は夫のやる気と努力に助けられているので、「お父さん、ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたいです。（Kさん）

42年間、勤続してきた経験から「働きたい」「人の役に立ちたい」という気持ちが強くて6月から就労支援事業所に通うようになりました。生活に張りが出てきて非常に楽しいです。これらの目標は、しっかりと元気に働き続けることです。（Kさん）

1 支え合うK夫妻

2 3 就労支援事業所での様子。「Kさんは優しくて気が利くので、いつも助かっています」と担当者は語る

# 自分らしく、生きる

「自分らしく」生きることを忘れない人がいます。前向きに明るく過ごす、その姿勢についてKさん家族に話を聞きました。

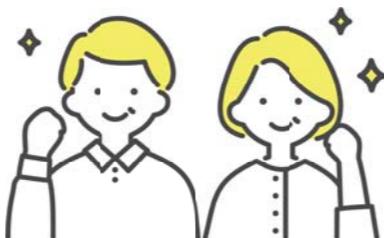
自らの得意だった夫が「家まではどうだつたっけ」と道に迷ったことをきっかけに、71歳を過ぎた昨年の2月、病院での検査と治療を受けるようになりました。今思えば、仕事中に骨折をして自由に動くことができなくなっていた間に、家でほっと過ごすことが多くなっていましたことが主な要因かなと思いました。認知症の診断を受けたときは、町内会の回覧板で取り組みを知りました。センターを利用しました。主人は眞面目な性格で口数も少なく、家でもあまり話すことはなかったのですが、ディケアやオレンジカフェを利用するうちに人とつながりができると、主人の様子が変わっていくのを感じました。（妻）

日々に見えて社交的になったというか、明るくなっていくのを感じました。ごみを捨ててくれるようになります。物をするようになります。家事を率先してするようになりました。また、無口だった父がよく話すようになったと思いません。テレビを見ながらアクションを取り始めました。（娘）

# ともに、生きる

市では、いきいきと生活を送るための各種支援を行っています。高齢者福祉サービスについて困ったことなどがあれば気軽にご相談ください。

市高齢福祉課 ☎ 0994-31-1116



## 介護予防活動支援教室事業

体を動かすと、心も元気になりますよ！



介護予防、認知症予防の自主活動に取り組むために、さまざまな運動メニューが体験できる介護予防教室や体操指導士の養成講座等を開催しています！

- 日程 年間を通して様々な会場で実施
- 対象者 市に住民票のある65歳以上の人又は介護予防活動を支援する人（64歳以下）
- 参加料 無料（一部有料の教室有り）
- 応募 市高齢福祉課で申し込み

## 運動サロン育成事業

介護予防や認知症予防の自主活動を通して人と人がつながり支え合う地域づくりを支援するために、運動指導者を約2～3か月間派遣します！

- 対象者 5人以上の高齢者グループ
- 申請 市高齢福祉課に相談



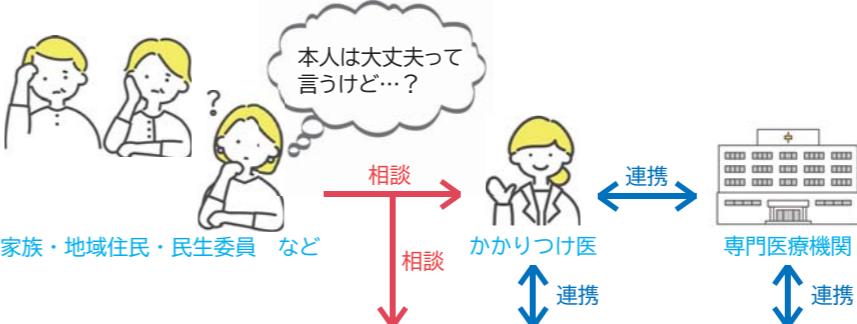
## 認知症初期集中支援チーム

市地域包括支援センター ☎ 0994-45-6969

認知症の人やその家族に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に活動しています。

医師を中心とする専門職が集まり、認知症の症状に沿った対応を話し合い、在宅での生活を支援します。

### ▼認知症初期集中支援チームの支援の流れ



### 地域包括支援センター 認知症初期集中支援チーム

- ①初回訪問 本人や家族の生活状況を確認
- ②チーム員会議 どのような支援が必要か会議
- ③支援の実施 介護サービスの検討・調整 専門医療機関の受診など
- ④引き継ぎ 適切な支援体制を確保するために支援の主体となる機関に引き継ぎ

## interview

### 認知症初期集中支援チーム



## ひとりで抱え込まないで

私たち認知症初期集中支援チームは、認知症と診断された又は疑いがあるとして地域包括支援センターに相談があった人の中で、医療・介護サービスを受けていない人や中断している人を対象としています。私たちは、本人だけでなく家族との関係性をしっかりと構築することを心掛けてアプローチしています。通いの場につながることで、本人や家族から「今後の生活への希望が持てた」との声をいただきます。困りごとや悩みがある人は、地域包括支援センターまでご相談ください。



















# Present

This Month's Gift

## 杉薫る木製バインダー＆ペン立て（5名様）



応募期限  
9/27(火)

**【応募方法】** 25・26ページのはがきに、クイズの答えと、「読者のひろば」へのお便りをお寄せください。応募者の中から抽せんで5名様にプレゼントします。なお、当せん者の発表は、賞品引換券の発送をもって代えさせていただきます。（8月号の答え：4つ）

### クイズ

Q. 5年に1度開かれる和牛のオリンピック「第12回全国和牛能力共進会」の開催期間は？

「10月6日～○○日」

※○○に入る2文字の答えは、この広報誌のどこにあります。

ムービーでかのや

◀ MOVIE でかのや

POWER ● REC 100%  
Date . . . 123/10000

毎年旧暦の6月（現在の8月）に行われる高須町八坂神社の祇園祭で舞われる伝統芸能が「刀舞（かつなめ）」です。地域で100年以上受け継がれてきた、五穀豊穣や悪疫退散、子どもの健やかな成長を願って舞う刀舞の様子をお楽しみください。

### 今月のココをCHECK!



くわしくは  
**P16**  
へGO!!

市の魅力を発信するシティセールスとして、本市出身のお笑い芸人である「サンシャイン池崎」さんが全力で鹿屋をPRする動画が特設サイトで公開中です。これを見ればさらにジャスティスな鹿屋が「イエエエエーイ!!」になること間違いない！

Rena Theater

～リナシティかのやの「リナシアター」で映画を見よう！～

(C) 2021 Universal Studios. All Rights Reserved.

## ジュラシック・ワールド／新たなる支配者 [日本語吹替版]

29年続いた大人気恐竜映画シリーズの「ジュラシック・パークシリーズ」。ついに迎えた最終章では、過去シリーズから人気恐竜のほか羽毛恐竜や地上最大の肉食恐竜など新種恐竜も登場します。大迫力のスクリーンに描かれる衝撃のラストとは。

問リナシティかのや ☎0994-35-1001

\*上映期間・時間・鑑賞料は変更する場合があります。

\*特別割引券は、1枚に付きお一人限りです。

また他の割引券との併用はできません。

### 上映時間 (146分)

- ①10時～ ②13時～
- ③16時～ ④19時～

### 鑑賞料

- |       |          |
|-------|----------|
| 一般    | / 1,800円 |
| 大学生   | / 1,500円 |
| 高校生以下 | / 1,000円 |
| 60歳以上 | / 1,200円 |

※18歳未満の方は、終映が19時を過ぎる上映回には必ず保護者同伴のうえ、ご入場ください。



### 特別割引券

ジュラシック・ワールド  
新たなる支配者

割引券をお持ちの人は300円(高校生以下は200円)を割引します。  
※60歳以上の人は割引対象外です。